



AIYES 通信

横浜スペイン協会会報

発行：横浜スペイン協会 横浜市鶴見区岸谷 2-18-4 年4回発行（1月4月7月11月）

横浜スペイン協会活動 近況報告

昨年来新型コロナウイルス感染拡大により、当協会の活動も縮小せざるを得ない状況が続いていました。このところ感染者数が激減し緊急事態宣言も解かれ、長く暗いトンネルから抜け出し少し明かりが見えてきたように思われます。今後も気を引き締めながら、前向きかつ積極的に協会の活動を盛り上げていきたいと考えております。今号ではこのような状況下、色々なリスクを考慮しながら大変アクティブに活動されている会員の皆様を紹介しています。その中でも特に会員有志を中心に、オリンピックを機に横浜を訪れるスペイン語圏の人々に対してスペイン語でおもてなしをすることを目的に結成された、サークル「Club Vente Vente」のメンバーの皆様に対して、結果的に競技が無観客となり活動が制限されてしまいましたが、人の為に役に立つ事をしたいという情熱とボランティア精神に心から敬意を表したいと思えます。お疲れ様でした！（会長 下山利明）

サークル Club Vente Vente（旧 Club2020）の活動終了を迎えて（2021年夏・閉会）

私共のサークル「Club 2020」は、オリンピックを機に横浜を訪れるスペイン語圏の人々を「スペイン語でおもてなしする」ことをコンセプトに結成されました。メンバーは、日本の伝統文化を日本語、西語で整理し横浜近辺の名所旧跡を実地検証、外国人訪問者に説明が出来るように、横浜一日観光ガイドのパンフ（スペイン語版）を作成。結果、ボランティアガイドとして活動をしているメンバーもおります。また4人が横浜 City Cast のオリ・パラ・ボランティアに登録が叶い、2018年から始まったボランティア研修ではボランティア活動に必要なスキルを獲得しました。残念ながら、コロナ禍のため横浜のオリンピック・パラリンピックの競技が無観客となり、ボランティア活動は制限され、私どもは、実践で活動する機会に恵まれませんでした。オンライン講座や研修を通して学ぶ機会も多く「幻のボランティア活動」も良い経験ができたと感謝致しております。



10月16日、横浜市主催のCity Castへの「感謝祭」がパシフィコ横浜で開催されました。多くのCity Cast

が出席し横浜市長や、メダリストの参加を得て、栄誉賞の贈呈式等が行われました。今回は活動のチャンスが無かった私どもボランティアにとってもそれなりに盛会となった今大会はまた次のチャンスに向けて、まずはこれで良かったのかな・・・と思った次第です。

最後になりましたが、Club2020の活動に長い間ご協力頂いた皆様に感謝申し上げます。（福長昭代）



2021年度後期スペイン語教室

後期講座: 2021年10月1日～2022年3月31日

昨年創立30周年を迎えた横浜スペイン協会が運営する歴史あるスペイン語教室です。当協会のスペイン語教室はスペイン語の習得だけでなく、スペインの文化にも幅広い知識や理解を深めることを目指しています。

1) お知らせ

- ・前期は4月、後期は10月に開講しますが、入会は随時できます。
- ・最初に見学を希望される方は、3教室、3回まで無料で見学ができます。
- ・クラスのレベルは凡その目安です。受講される前には無料見学で体験されることをお勧めします。
- ・各クラスの定員は15名です。定員を超えた場合は、別のクラスに誘導させていただく場合があります。
- ・入門、初級クラスは日本人講師の指導でしっかり基礎を学び、中級以上は本場スペイン語ネイティブ講師が指導します。
- ・受講申込み及び受講費等の詳細については、後述3)「受講申込み及び受講費」をご覧ください。
- ・後期の日程は別掲載「2021年度後期スペイン語教室日程と教室一覧」をご覧ください。

2) 実施中のスペイン語教室

2-1) 横浜駅周辺教室(「マグノリア」以外は横浜駅西口「かながわ県民センター」の会議室を使用します)

クラス名	レベル	項目	講座内容
1	入門	授業日 講師 教科書 講座内容	第1.2.3 木曜日 10:30～12:00 栗山由美子先生 「IDEAL(イデアール)」同学社 2021年4月に開講した新しいクラスです。初めてスペイン語を始める方やもう一度基礎からやり直したい方向けのクラスです。
2	初級	授業日 講師 教科書 講座内容	第1.2.3 木曜日 10:30～12:00 中園竜之介先生 「はじめてのスペイン語」ナツメ社 昨年6月開講のクラスです。基礎的な動詞を使い、挨拶から派生した初歩的な日常会話ができるようになることを目指します。
3	初級	授業日 講師 教科書 講座内容	第1.2.3 木曜日 13:00～14:30 中園竜之介先生 「文法から学べるスペイン語」ナツメ社 文法の基礎を学んだ方を対象に、より豊かな表現で意思疎通を図れるよう基礎よりワンランク上の文法や言い回しを学ぶクラスです。
4	初・中級	授業日 講師 教科書 講座内容	第1.2.3 水曜日 10:30～12:00 栗山由美子先生 Plaza Amigos Español para hablar III 接続法を学んでいます。どのように使われるか、会話練習を重ねます。
5	初・中級	授業日 講師 教科書 講座内容	第1.2.3 木曜日 10:30～12:00 山田るりこ先生 現在形を中心としたオリジナルテキスト 講師オリジナル編集の会話テキスト「サヨナラ、棒読みスペイン語！」で会話の基礎を固めます。
6	初・中級	授業日 講師 教科書 講座内容	第1・2・3月曜日 13:00～14:30 山田るりこ先生 「Plaza Mayor 2」 各課15問の作文を毎回2～3問ずつこなし、テキストが求める模範解答以外の表現の可能性も探る(接続法の単元でも、接続法を使わない方法など)。 並行して会話テキスト「サヨナラ、棒読みスペイン語！」をベースにした会話練習。
7	初・中級	授業日 講師 教科書 講座内容	第1・2・3月曜日 10:30～12:00 山田るり子先生 1.講師作成のオリジナルテキスト 2.短編小説 Lola Lagoシリーズ「Eres tú María」 冠詞の用法と接続法をオリジナルテキストで学習します。 また短編小説の読解を通じて単語力・表現力をつけていきます。 これらを交互に進めていきます。

8	カメラア	中級	授業日 講師 教科書 講座内容	第1・2・3月曜日 13:00～14:30 ビクトル先生(Prof.Victor Pérez バルセロナ出身) 第1、第2月曜日は「Español en Marcha4」 第3月曜日はフランシスコ・ガルシア・パボンの「El Carnaval」を読みます。 テキスト、物語は一回の授業で1～2ページとゆっくり進みます。 毎回交代で簡単に自分の出来事などをスペイン語で話します。 授業はスペイン語で行われます。
9	クラベル	中級	授業日 講師 教科書 講座内容	第1・2・3 水曜日 13:00～14:30 フランシスコ先生(Prof. Francisco J. Garzón Bravo グラナダ出身) 「Nuevo Español en Marcha 3 B1」、物語読本「Cuentos,Cuentos,Cuentos」 基本的なスペイン語の文法を一通り終了しもう一段階上のスペイン語を目指すクラスです。 第1、第2水曜日:「Nuevo Español en Marcha 3 B1」及び練習問題のプリント 第3水曜日:近況をスペイン語で発表した後、スペイン語の物語を購読。 授業はスペイン語で行われます。
10	ビオレタ	中・上級	授業日 講師 教科書 講座内容	第1・2・3 水曜日 10:30～12:00 ビクトル先生(Prof.Victor Pérez バルセロナ出身) 「Curso de Lectura Conversación y Redacción」SGEL社 会話中心の授業を展開しながら、芸術・文学・歴史・社会・伝統・習慣などを幅広く学びます。 授業はスペイン語で行われます。
11	ヒラソル	中・上級	授業日 講師 講座内容	第1・2・3 水曜日 10:30～12:00 フランシスコ先生(Prof.Francisco J. Garzón Bravo グラナダ出身) 第1水曜日 映画鑑賞と台本講読 「Todo sobre mi madre」アルモドバル監督作品 第2、3水曜日 スペイン語小説の講読「El Arquitecto y el Emperador de Arabia」 視聴と講読でスペイン語力を深めます。授業はスペイン語で行われます。
12	チャルラ	上級	授業日 講師 講座内容	第4月曜日 10:30～12:00 (開講日は別掲載「教室一覧表」をご覧ください) ビクトル先生(Prof.Victor Pérez カメリアクラス講師) スペイン語の新聞・雑誌等から政治、経済、社会、文化、その他の記事を取り上げ、それに関するディスカッションを通じてスペイン語力の向上を図ることを目標にします。

2-2) 横浜海岸通り教室

波止場会館 教室所在地:横浜市中央区海岸通り1-1				
	クラス名	レベル	項目	講座内容
13	新聞、雑誌を読むクラス	上級	授業日 講師 教科書 講座内容 受講料	第4土曜日 10:15～11:45 栗山由美子先生 スペインの新聞・"El País"の記事を主に使用。 スペインとラテンアメリカ情勢を中心にしてスペインから見た世界の情勢を勉強します。 (討論は日本語で行われます。) 記事の内容を理解するには上級程度の語学知識が必要です。 ¥1,500/回

3) 受講申込み受講費他

- ① 各教室定員は、原則として15名。空席のある場合は会員優先で随時入会可。 **入会金不要**
【注】現在コロナ感染対策として人数制限をしています。定員に達しない場合でも受講をお断りすることがあります。
- ② 受講料:各教室 ¥1,500/回 半期分前納(前期15回、後期18回)。
 - ・横浜スペイン協会員以外の方は別途事務費2,000円(各期ごと)が必要です(協会員は無料)。
 - ・期の途中から受講される場合は、受講日からの日割り計算になります。
 - ・「新聞雑誌をスペイン語で読む」クラスは毎月新たな資料が必要のため受講料が異なります(2-2参照)
- ③ 使用言語:外国人講師は日本語も堪能ですが、教室では生きたスペイン語が中心です。

・お問い合わせ、お申し込み先: 下記のメールアドレスにご連絡をお願い致します。

E-mailアドレス: spanish_class@yokohama-spain.jp

(spanishとclassの間にアンダーバーが入ります)

●スペイン語クラス

◆19回クラス委員会の報告

9月29日(水)にクラス委員会を前回(1月)に続き Zoom にて開催し、出席 10 クラス委員より状況報告がありました。(欠席 3 クラス委員はメールで事前報告あり)

①先ず担当理事より、緊急事態宣言のため9月一杯 Zoom にて授業を行い、皆さん Zoom にも慣れ当初の接続不良もなく実施できたこと(その後 10 月以降は対面にて再開が決定)、4 月より入門クラス“マグノリア”が6名で開講したこと、コロナ、高齢化のためクラス継続条件(期末時点で受講生 6 名以上)ぎりぎりのクラスが出てきたこと、夏季講座は中止したが冬季講座としてリモートで文化講座を検討する等の報告がありました。②各クラス委員より、クラスの状況・課題につき報告がありました。授業の内容については、テキストでの文法・会話と小説の読本、映画鑑賞でヒアリング・シナリオの講読、テキストに加えカードの使用/スペイン語の歌の合唱とか、先生からのテーマについての発表・質疑応答、又、授業方法としてパソコン・プロジェクターを使用して必要内容をテキストに記入して授業後に全員に送る等の報告がありました。③担当理事から、4~7月に Zoom で実施した文法講座のアンケート結果報告を行い、リモートクラスの今後につき、ハイブリッド授業として月 1 回 Zoom にするとか、WiFi による対面/ Zoom での授業とか、午前/午後受けている場合のクラスの統合とか、検討事項を伝えました。④参加者との意見交換として、オープンクラスを Zoom 開催にする、授業は対面を優先として Zoom はあくまで補完とする、来季以降募集の際は Zoom 授業もあり得ることを最初に伝えておく、今後対外的 PR として具体的な方法を考える必要がある、等の発言がありました。(原健三郎)

◆「もう一度文法クラス」《応用編》を受講して

結論から言えば、スペイン語に関する理解に深みが増したような気がします。通常のクラスでの講義が再度接続法に入ることもあり、《応用編》に挑戦しようと思いました。

4 回の講座では複雑な接続法を十分に習得することは無理ではありますが、その骨組みをしっかりと理解出来たことは大きな収穫でした。接続法で感情豊かなスペイン語が表現出来るようになりたいという気持ちになりました。ただ、今回は新型コロナウイルス感染のため、対面での緊張感満載の授業を味わえなかったのが残念です。(佐々木豊)

●スペイン・サロン

2021年10月2日(土) 13:30~15:30 波止場会館

「ハプスブルク時代と画家エル・グレコ」

講師：スペイン史著述家 西川和子氏

スペインを統一したカトリック両王は 5 人の子供を授かりましたが娘のフアナは兄や姉イサベルとその息子の死により思いもかけずタナボタで王女になり、息子のカルロス 1 世が祖父(ハプスブルク家)の死後 1516 年にスペイン王位を継承しスペイン・ハプスブルク王朝が始まった。フェリペ 2 世の治世で絶頂期を迎えましたが 1700 年にカルロス 2 世の死後、王位はブルボン王朝に継承された。歴史は常に偶然の積み重ねのようです。エル・グレコはクレタ島のカンディアに生まれ、イタリア(ベニス)へ渡ったが当時ベニスにはティントレットやティツィアーノなどの大御所がいて、グレコに仕事は来ず、次のローマではミケランジェロの「最後の審判」を批判し居づらくなってハプスブルク絶頂期のスペインに渡り、トレドに暮らしました。フェリペ 2 世に仕えようとしていましたが評価されず、また、トレド大聖堂の依頼で描いた「聖衣剥奪」は内容(福音書違反)と価格交渉でもめて二束三文で決着との説明を聞き、挫折や苦労を重ねたグレコに親しみを覚えました。(宮岡栄一)



*次回のスペイン・サロン (11月)

11月は昨年コロナ禍のため中止となりました協会創立30周年の記念講演を再度企画いたしました。

講師：関 哲行先生 (流通経済大学名誉教授)

日時：11月20日 (土) 13時～15時

場所：かながわ県民センター711号室

テーマについての詳細はホームページをご覧ください。

※今後のコロナ禍の状況によっては変更の可能性がございます。ご了承ください。

お申込み&お問合せ：spain_salon@yokohama-spain.jp (平本、服部)

●会員の活動報告

◆三溪園 観月会

2021年9月23日

琴奏者の児玉寛子さん率いる、横浜和楽器アンサンブル (アトリエこだま) の演奏会が、横浜三溪園にて観月会の催しとして、園内の燈明寺本堂前で行われました。児玉さんのお琴の演奏は、今年も10月12日のナショナルデーにスペイン大使館のオンラインでの披露がありました。あいにくスペインから帰国したばかりのトレド大使は隔離期間のため、大使館から出ることが出来ずお見えになりませんでした。職員の方々5名がいらっしやいました。日本に赴任して間もないモラレス商務部担当官が、観月会の感想を送ってきてくださいました。

中秋の名月は満月を二日過ぎてはいましたが夜空に光輝いて、演奏を聴いた後園内をそぞろ歩く我々を照らしてくれました。本当に良い観月会でした。(下山綾子)



El pasado 23 de septiembre, en el bellissimo parque de Sankeien Garden se realizó un concierto de música tradicional japonesa.

Junto a los miembros de la Sociedad Hispánica de Yokohama y su Presidente, el señor Toshiaki Shimoyama, varios miembros de la Embajada de España en Japón pudimos vivir y sentir la profundidad, misticismo y delicadeza de la música tradicional japonesa en una noche espectacular de equinoccio de otoño que otorgó, si cabe, aún mayor deleite para el público asistente.

Los cuatro españoles que tuvimos el inmenso regalo de estar presentes en dicho concierto, pudimos gozar de la música tradicional japonesa en todo su esplendor escuchando instrumentos milenarios como el koto, el shamisen, el shakuhachi, el shinabue y el tambor japonés tsuzumi. Al elenco de excepcionales músicos se unió un saxofonista que combinó sus sonidos en perfecta armonía con los instrumentos más venerados de la tradición musical japonesa. Las tres maestras de koto, comenzando por Takako Kodama, y junto con su compañero de tsuzumi, la maestra de shamisen y los tres músicos de shakuhachi y shinobue ofrecieron bellísimas melodías que intercalaron a la perfección con explicaciones sobre las

características históricas y físicas de cada uno de sus instrumentos.

En una espléndida noche de equinoccio de otoño, con una luna llena espectacular, los espectadores pudimos fundirnos con la naturaleza del lugar y conectar con la eternidad de nuestras almas. Por unas horas, pudimos disfrutar, sin preocupación, de la naturaleza y tranquilidad del parque Sankeien Garden, de los templos y construcciones sagradas que lo configuran y sobre todo, para los recién llegados al país del Sol Naciente a los que nos queda todo por descubrir de este bellissimo y enigmático país, conectar nuestros corazones con algunas de sus melodías más sagradas.

Por todo ello, agradecemos infinitamente al Sankeienm Garden, a la maestra de koto Takako Kodama y a la Sociedad Hispánica de Yokohama y su Presidente, el Señor Toshiaki Shimoyama, por la experiencia inolvidable que nos regalaron con esta invitación.

Montserrat Carrasco Morales

Agregada Comercial

Oficina Económica y Comercial de España en Tokio, Japón.

(対訳)

9月23日、美しい三溪園庭園で和楽器の演奏会が開催されました。

横浜スペイン協会会長の下山利明様をはじめ、会員の方々とともに、スペイン大使館より数名のメンバーに参加させていただき、日本の伝統音楽の深み、神秘性、繊細さを、素晴らしい満月の夜空の下で楽しむことができました。

この演奏会に出席することができたスペイン大使館の4名のメンバーにとっては、素敵な贈り物を頂いたかのような感じでした。箏、三味線、尺八、篠笛、鼓など、日本古代の楽器の音楽を聴きながら、その素晴らしい音色で日本の伝統を楽しむことができました。さらに、日本の音楽の伝統の中でとても愛されているこれらの和楽器の素晴らしい演奏者たちに、サクソ奏者が加わり、完璧な調和が生まれました。

児玉寛子先生をはじめとする箏の3名の演奏者は、鼓、三味線、尺八、篠笛の演奏者とともに、すばらしいメロディーを私たちに届けてくれただけでなく、それぞれの楽器の特徴や歴史などについても詳しい説明が行われ、我々は大変勉強になりました。

見事な満月の秋分の素晴らしい夜に、我々観客はその場所の自然と融合し、そして私たちの魂とつながることができたと思います。数時間の間、私たちは三溪園の自然と静けさや、寺院と神聖な建物、そして何よりも私たちのように日本が初めてである者にとっては、新しい発見、そして心安らぐ楽しいひとときでありました。

三溪園庭園の関係者の皆様、児玉寛子先生をはじめ演奏者の皆様、そして横浜スペイン協会とその会長の下山利明様には、今回のお招き下さいました事を心より感謝申し上げます。忘れられない素敵な体験をさせて頂きました。

モントセラット・カラスコ・モラレス

経済アタッシュ

スペイン大使館経済商務部

◆スペイン音楽学校 秋の祭典 2021 年記念に出席して

日本サルスエラ協会主催の「スペイン音楽学校」が9月17日横浜山手のイギリス館で開校されました。学校長の桜田ゆみさんのあふれるアイデアで、1限から6限までクラス毎にテーマがそれぞれサルスエラ、フラメンコ、ス



イン歌曲、ピアノ曲などに分かれていて、授業の始めと終わりにはピアノに合わせて学校さながら「起立、礼、着席」を客席全員で行うなどユニークな音楽会でした。出演者も歌、踊り、ピアノ、ギターなど様々で、イギリス館内の素敵なホールでしばしスペイン音楽をたっぷり味わうことができました。コロナ禍で出演者の方々は舞台出演の機会が大幅に減ってしまったようですが、この音楽会のために新たな歌やギター曲に挑んで演奏して頂いたそうです。常に前を向いて新たな分野にチャレンジする姿は素晴らしいと感じました。(岩田岳久)

◆高木洋子さんコンサート チャリティ公演～

10月23日、杉田劇場で高木さんのコンサートが行われました。この公演は入場無料として熱海市伊豆山土砂災害により被災された方々へのお見舞いと、復興を支援するための義援金を募り、寄付を行う公演でした。公演はⅠ部はギターのアンサンブルが8組出演されそれぞれのスタイルで演奏を聞かせてくれ楽しませてくれました。Ⅱ部では高木洋子さんのピアノソロにより1.アルハンブラの思い出から始まりスペイン南部の地アル・アンダルース(グラナダ・コルドバ・セビージャ等イスラム・スペイン時代の呼称)のフラメンコなどの伝統を取り入れた曲「アル・アンダルース」等5曲が演奏され、次にギターDÚO(手塚健旨・柴田杏里)による2曲(タンゴ、グアヒーラ)を、そして最後に高木洋子さんと柴田杏里さんによる魅惑的なアランフェス協奏曲が演奏され、とても素敵な時を過ごすことができました。(武菱邦夫)

◆サンティアゴの統計数値(大聖堂巡礼事務局発表)

サンティアゴ大聖堂の巡礼者事務所の統計をお知らせします。
2021年は聖年(7月25日が日曜日)にあたり大勢の巡礼者が期待されていましたが、コロナ禍で激減しています。このため異例の措置として聖年を来年(2021-2022年)まで延長することになりました。

統計数値(最後の100kmを歩いた人に授与される証明書・コンポステラを授与された人の数)

2019年(年間)	: 347,578人
2020年(年間)	: 54,144人
2021年(1~10月)	: 166,582人
(月別)	1月:60人・2月:14人・3月:194人・4月:1,024人
	5月:4,295人・6月:14,824人・7月:33,963人・8月:43,575人
	9月:37,463人・10月:31,170人

来年は是非巡礼をしたいと思います。(問屋正勝)

◆スペイン大使館イベント協力について

スペイン大使館内において『スペインコミックとスポーツ展』が行われました。その中でオリンピックが行われている8月6日にスペインのミゲル・イセタ文化スポーツ大臣が、オリンピックでのスペイン代表チームなどの応援を兼ねてこられることとなりました。このため大使館でのコミックとスポーツ展の鑑賞の中、琴の演奏で、おもてなしを行うという大使館の意向があり、横浜スペイン協会へ協力の依頼がありました。開催にあたっては、スペイン国歌の琴の音で始まり、スペインにはない音色に大変興味を持って頂きました。会場内をご覧になっている時も琴の音を流して日本情緒を楽しんでいただきました。また会場内には、達磨があり、この達磨に目を入れるなど、日本の文化による催しも行われ、興味深く味わっていただいたことと思います。(武菱邦夫)

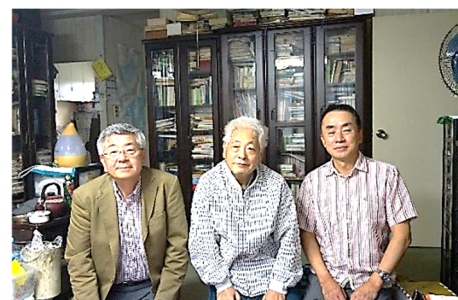


《1993年スペインでの初回の桜植樹に同行、神奈川新聞に関連記事を書かれた千葉恭氏をお訪ねして》

協会 30 周年の記念行事として昨年 4 月に予定していたロンダでの桜の植樹はコロナ禍で延期となり、残念ながら未だ実現の目処が立たない状況です。1993 年に初めてロンダとセビリアを訪問して桜の植樹を行った際、当時神奈川新聞の記者として現地に同行された千葉恭氏を 10 月 1 日大戸理事と岩田で訪問し、同行された経緯や現地でのエピソードなどについてお話を伺ってきましたのでご報告します。

当時横浜市では海外の 8 つの都市と姉妹・友好都市を結ぶなど海外交流が盛り上がりを見せていた。この中でヒマワリを区の花にしていた港南区の区長に就任した下山貞明氏が海外のヒマワリの産地との交流を思い立ち（この一つがスペイン）、ロンダに住んでいた春田美樹画伯との交流を通じ桜によるスペインとの交流を行うことにした。千葉氏はこのような海外交流に関心を持たれ 1993 年のスペインでの桜の植樹に同行することになった。千葉氏はご自身が書かれた新聞記事を全てスクラップブックに残されていて、この時のスペイン訪問に関する記事があるものを用意しておられました。千葉氏は現在 78 才ですが、同行取材時は現役記者ばりばりの 50 才の時でした。総勢 31 名の訪問団は、ロンダ市庁舎に市長を訪問して日本から持参した 4 種類の桜の苗木 200 本を贈り、その内 12 本を地元の小学生を含め 150 人の市民と共にプラス・インファンテ公園に植樹したこと。その際撮った写真のネガを現地の新聞記者から貸して欲しいと言われて貸したところ、翌日になっても戻って来ず、再度植樹をお願いするか真剣に考えたことなど、関連記事を懐かしそうにご覧になりながら語っていただきました。ロンダ市の文化会館で交流行事が行われ、日本側からはお茶やお花の実演、ロンダ側から地元の民族衣装を着た若い娘らによるダンスや郷土料理のもてなしがあったそうです。その後セビリャ市も訪問し、市民との文化交流を行ったほか桜の苗木 10 本を寄贈して今後の交流についても協議が行われたようです。

当協会が 30 周年を迎えた今でもスペイン各地に桜の植樹を行っていることとお話ししたところ、それだけ長く活動を続けている交流協会は少ないとのコメントをいただきました。千葉氏曰く、春田画伯と初代下山会長のつながりがスペインでの桜植樹という活動を実現させ、これを継続させる原動力になったのであろうとのことでした。当方より出来れば近いうちに再度ロンダでの桜植樹を通じた市民交流を行いたいとの思いを千葉氏にお伝えしてお宅を後にしました。(岩田岳久)



《《賛助会員各社の会員サービス内容》》

◆会員証の提示で、下記賛助会員企業より表記のサービスが受けられます。

賛 助 会 員	住 所	☎番号	会員サービス
カサ・デ・フジモリ関内本店	横浜市中区相生町1-25	045-662-9474	サングリア 1 杯無料
Bar Español	横浜市中区相生町2-43-2	045-651-1074	サングリア 1 杯無料

編集長/下山綾子 編集委員/ 岩田岳久 大戸正彦 下山利明 武菱邦夫 服部君江 原健三郎 平本紀子 松村清

投稿寄稿宛先 E-mail 全般 : info@yokohama-spain.jp
 スペイン語教室: spanish_class@yokohama-spain.jp
 スペイン・サロン:spain_salon@yokohama-spain.jp
 ホームページ : http://www.yokohama-spain.jp

次回の原稿締切は
12月10日(金)です